



まちづくり交流プラザ (旧屋台村)

- 会 場：総合体育館(大競技場)
- 日 時：平成22年10月22日 9:00~16:45

今回の佐賀大会交流プラザでは、これまで、各地での全国大会に参加し、お世話になったお返しと佐賀のおもてなしの心が十分伝わるように、感謝の気持ちを込めて笑顔で皆様をお迎えいたしました。また、ここへ来ていただければ、何かしら佐賀らしさを感じていただけるような企画といたしました。

恒例の出店ブース(旧屋台村)では、まち・もの・くらしづくり・情報を主たるテーマとして、全国と連合会そして地元佐賀県建築士会から合わせて47団体の出店参加があり、それぞれの活動内容に建築分野の幅の広さと新しい感動をあらめて覚えました。

その他、情報発信の場として佐賀県独自・全国初のトライアル発注事業(地元中小企業が開発した製品などの有用性を評価し、官公庁での受注実績をつくり販路開拓の支援事業)を受けた地元中小企業を主として、大手企業を含めた企業ブースは25社の出店があり、広い会場に賑いを見せていました。

そのほか佐賀が生んだ建築界の巨匠たち・連合会賞入賞作品・各県別女性委員会パネル・佐賀県内高校生コンペ入賞作品といったパネル展示、木組構造実験などが展示されました。

午前中はじめのころは、メイン会場(佐賀市文化会館)の隣の建物がおもてなし会場ということもあってか、出だしがまばらな状態でしたが時間が経つにつれ人数が増えて来て賑いが増してきました。

会場入口では、1,700部の攻略本(DATA・MAP)を配布することができましたし、出店ブースの採点ボードはシールを貼る欄が足りなくなってしまう後から上に欄を付け加えないといけなくらい多くの方々の参加がありましたので本当に良かったと思っております。

因みに、交流プラザ最優秀賞は福岡県建築士会まちづくり委員会さんの「台北国際花博出展「エコ・アジア・五感の庭」50年後の家族のために」に贈られました。また、交流プラザ会場入口そばの次回開催県の大阪府建築士会PRブースは斬新なデザインで構成されていて「大阪大会」に期待を寄せて足を止める人が多かったように思えました。

同会場では佐賀県女性委員会による鹿材を使った、ミニ障子づくり、癒しライト、組み手を考える木製パズル、モザイクタイルと木製プレートでつくるミニ鍋敷きなどエコをテーマにワークショップを開催しました。参加費500円であったにもかかわらず、なかには1人で2、3種類参加された方も多かったと聞き、楽しんでいただけたことを嬉しく思っています。

佐賀大会全体の各会場でさまざまな催しが展開している中、ホッと一息ついていただけるようにと武雄市名産のレモンガラスのハーブティーと佐賀銘菓によるおもてなしを用意しましたところ大盛況



交流プラザ最優秀賞福岡県建築士会まちづくり委員会ブース



次期開催地大阪府建築士会PRブース



佐賀県女性委員会によるものづくり

に終えることができました。佐賀県女性委員会主催のこのおもてなしコーナーには佐賀大会のサブテーマにある「未来につなぐ人の絆」を大切に女性委員会と交流のある放課後学習の学童支援センターの先生方も応援に手伝っていただきました。佐賀大会があったからこそ日頃交流の無い建築士のメンバーとも絆を強く力を合わせひとつになって大会を支えることができたと思います。このような機会に恵まれて本当に良かったと思っています。

(交流プラザ部会 山口美由紀)